



学校だより



令和3年 2月 8日
大野城市立大野中学校
＜第9号＞

【健康 敬愛 自律】 文責 教頭 萩尾 徹子

がんばれ3年生！！

いよいよ福岡地区私立前期入試が終わりました。最近の入試形態が様々で私立高校の入試は、専願入試、前期入試、後期入試が主流です。公立高校の受検は特色化選抜、推薦入試、一般入試があります。

自分が今後、何をしたいのか、何になりたいのかを考え、入試に臨む3年生の姿に心動かされます。面接の練習では、高校でやりたいこと、将来何になりどういう努力を重ねていくかを述べていました。2月4日（木）の事前指導でも、3年生の皆さんは、背筋を伸ばし、校長先生からのエールを受け、適度な緊張感を漂わせていました。

校長先生からのお話のパナソニックの創始者であり、経営の神様とも言われている松下幸之助の言葉がありました。



校長先生からのエール



受験校ごとの事前指導

どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。いま、現在に最善を尽くすことである。

過去を反省して、現在に生かすための行動をとることはできても過去そのものは変えることはできません。未来もまた、どんなに考えても未来を変えることはできません。今できることはこの瞬間に全力を尽くすことです。この言葉は入試だけでなく、生活の様々な場面に当てはまります。テストの前になると、「もっと早く勉強に取り組んでおけばよかった」「ゲームの時間をもっと削ればよかった」などと計画的に取り組めなかったことを後悔したり、「〇〇になれなかったらどうしよう」などとまだ努力をしていないのに将来を考え、悲観的になったりすることがあります。つつい変えようのない過去を振り返って後悔したり、こうなってはとうしようとうと将来のことを考え不安になったりしても仕方がないことです。今、ここに集中することが大切だということです。現在行うべきことに最善を尽くしましょう。現在の積み重ねが未来を変えていくことになるでしょう。

保護者の皆様、お子様が将来を考え、不安になることもあることでしょう。コロナ禍の今だからこそ、「お家時間」を使って、人生の先輩として経験談等をお話くださると不安も軽減されると思われます。よろしく願いいたします。

福岡アクション3

福岡県に緊急事態宣言の延長が発出され、連日感染者が多数出ていることを報道されています。このような中で、外出を控え、自宅で過ごす時間が増えていることと思います。家族と過ごしたり、読書を楽しんだりそれぞれ時間の使い方は違うことでしょう。充実した時間を過ごせている子どもたちにとってはこの緊急事態宣言は今までにできなかったことをする時間となっています。しかし、本校でも臨時休校になったり、連日の感染者数の報道等で不安を感じたり、生活リズムが乱れたりして欠席する子どもも出ています。福岡県教育委員会より家庭でどのように取り組んでいけばよいかまとめた不登校未然防止と支援のための「保護者のアクション3」がありますので紹介いたします。

ステージ1	未然防止のアクション
アクション1 習慣	<input type="checkbox"/> 早寝・早起きを励行し、顔を見ながら挨拶をしましょう。 <input type="checkbox"/> 1日のうち、決まった時間に机に向かうことを習慣づけましょう。 <input type="checkbox"/> しっかり食事を摂らせましょう。
アクション2 人間関係	<input type="checkbox"/> 毎日少しの時間でも子供と話をしましょう。 <input type="checkbox"/> 子供に、人間関係をつくる経験を積みませましょう。 <input type="checkbox"/> 地域の大人として、地域の子供とあいさつを交わしましょう。
アクション3 自尊感情	<input type="checkbox"/> 機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 学習に対する努力の姿勢や過程を認め、褒めましょう。 <input type="checkbox"/> 家庭で役割を持たせ、家族に貢献できていることを実感させましょう。
ステージ2	早期発見・早期対応のアクション
アクション1 早期発見	<input type="checkbox"/> 遅刻や欠席日数（月に3日の欠席）に敏感になりましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の友人関係、遊び、持ち物、服装などに気を配りましょう。 <input type="checkbox"/> ゲーム・ケータイ・スマホなどの利用状況を把握しましょう。
アクション2 早期対応	<input type="checkbox"/> 子供が不調を訴えたら「心配している気持ち」を伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の生活リズムに気を配り、規則正しい生活をさせましょう。 <input type="checkbox"/> 子供が不安や悩みを抱えていないかさりげなく話をしましょう。
アクション3 学校	<input type="checkbox"/> 日頃から学校の通信等にしっかり目を通しましょう。 <input type="checkbox"/> 何かあったときだけでなく、日頃から担任と連絡をとりあいましょう。 <input type="checkbox"/> 気になることがあったら、直ちに家庭の様子を学校に伝えましょう。
ステージ3	不登校になった場合のアクション
アクション1 受容	<input type="checkbox"/> 子供とじっくり話し、最後まで聞きましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の気持ちを否定せず、まず安心させましょう。 <input type="checkbox"/> 期待しすぎず、子どもの小さな変化を探し、褒めましょう。
アクション2 支援	<input type="checkbox"/> 本人の好きなこと、得意なことから少しずつかわりましょう。 <input type="checkbox"/> 焦って解決しようとせず、今できることから始めましょう。 <input type="checkbox"/> 欠席した日でも規則正しい生活をさせましょう。
アクション3 連携	<input type="checkbox"/> 1人で抱え込まず、家庭をはじめ周りの人に協力を求めましょう。 <input type="checkbox"/> 継続的に学校と連絡を取り、必要な情報を学校に伝えましょう。 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラーなどの専門家や教育支援センター等の関係機関に積極的に相談しましょう。

